

令和4年度 県土整備委員会 県外視察の概要

1 参加委員

岡田 理絵（副委員長）、杉本 直樹、元木 章生、長池 文武、扶川 敦、浪越 憲一、黒崎 章

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月25日（月）	盛岡南公園野球場（仮称）（岩手県盛岡市）
7月26日（火）	宮城県総合運動公園（宮城県宮城郡利府町）
	女川町（宮城県牡鹿郡女川町）
7月27日（水）	名取市（宮城県名取市）
	仙台空港（宮城県名取市）

3 調査目的及び視察概要

(1) 盛岡南公園野球場（仮称）（岩手県盛岡市）

(調査目的)

本県においては、本年3月策定の「鳴門総合運動公園野球場整備基本計画」に基づき、内野スタンドの全面改築を整備方針とした「基本設計」に取り組んでいる。

盛岡南公園野球場（仮称）は、盛岡市と岩手県が共同で整備を進めている野球場であり、令和5年に供用開始予定である。

両者とも自治体が整備を行う都市公園内の野球場という共通点があることから、鳴門総合運動公園野球場に必要な設備や防災拠点機能等について調査する。

(視察概要)

盛岡南公園野球場（仮称）の整備概要について説明を受けた後、建設現場を視察しました。



(2) 宮城県総合運動公園（宮城県宮城郡利府町）

(調査目的)

本県においては、地震をはじめとした大規模災害に備え、防災拠点の機能強化に取り組んでいる。

宮城県総合運動公園は、東日本大震災時に被災地支援の基地として利用され、現在も圏域防災拠点に指定されている。

本県の今後の議会審議の参考とするため、災害時における当該公園の各場所の利用方法や備蓄状況及び県担当部署や関係機関との連絡体制等について調査する。

(視察概要)

宮城県総合運動公園の防災拠点機能について説明を受けた後、現地を視察しました。



(3) 女川町（宮城県牡鹿郡女川町）

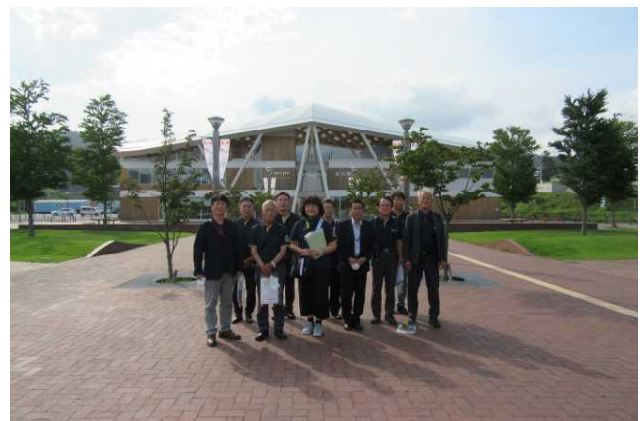
(調査目的)

女川町は、東日本大震災時に最も大きな被害を受けた地域の1つであり、震災後は公民連携によるまちづくりを推進している。

民間の力を生かすことは、早期の復興に欠かせないものであることから、その取組について調査する。

(視察概要)

東日本大震災後の公民連携によるまちづくりについて説明を受けた後、現地を視察しました。



(4) 名取市（宮城県名取市）

(調査目的)

名取市は閉上地区を中心に、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた地域であり、震災後は津波の脅威を後世に伝えるべく、震災復興伝承館等の施設を整備している。

当該施設の展示等を通して当時の状況を学ぶとともに、事前復興の観点から今後必要な取組について調査する。また、震災後の新しいまちづくりについても調査する。

(視察概要)

東日本大震災による被災状況及び復興の取組について説明を受けた後、現地を視察しました。



(5) 仙台空港（宮城県名取市）

(調査目的)

徳島阿波おどり空港は沿岸部に位置していることから、大地震が発生した際には津波による被害が想定されている。

航空路線の維持又は早期再開は、救援活動及び早期復興に重要であることから、東日本大震災の津波により甚大な浸水被害を受けた仙台空港の震災当時の対応、現在の事業継続計画（BCP）及び耐震対策等について調査する。

(視察概要)

東日本大震災時の状況及び事業継続計画（BCP）について説明を受けた後、施設を視察しました。

